

第2回 学校運営協議会

紀北支援学校



令和3年12月13日(月)紀北支援学校で第2回の学校運営協議会が開催されました。学校運営協議会当日の参加者は、委員8名と学校職員6名でした。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、授業見学は行わず、ミニマルシェを開催し、高等部生徒たちから各作業班の説明を聞いたり作業体験を委員の皆さんに行ってもらったり、和やかな雰囲気の中で委員と生徒たちとの質疑応答が行われたりしました。予想外の質問もあったと思いますが、自分の班のこと、自分自身のことについて考えながら答えられていたのには感心させられました。作業班の取組以外に、地域交流についても協議が行われました。

ミニマルシェの設定

全国高等学校総合文化祭での物品販売をイメージ



ミニマルシェの様子



高等部作業班が製品を提示しながら委員の方たちに製造工程などを説明しました。また、委員の方たちに木工班よりバターナイフ作成体験キットが配られ、やすり磨きやオイル塗りを体験していただきました。

生徒と委員とのやりとりの中で

デザインのバージョンアップは自分たちの意見が取り入れられていますか？

先生と相談しています

今の作業を通して、将来やってみたいことを見つけられましたか？

先生が・・・

今の班の中で、困っていることやほしい物はないですか？

製品を並べる棚がもう一つほしい

植物が好きなのでその関係の仕事をしたい

趣味として活かしていきたい

ないです

協議の中から

◎4年前の作業製品と比べると格段の差で売れる商品ができていますね(委員)

- ・新しいデザインや工夫については生徒たちと一緒に考えていきたい。
- ・高等学校との交流は実現したい。
- ・理科や道徳の教材として、メダカを地域の学校へ提供していきたい。